

ぽかぽか

園だより

3月

PEARL KINDER GARTEN
PEARL PRIMARY CLUB
PEARL NURSERY SCHOOL
BABY PEARL NURSERY

令和3年度も修了を迎えます。コロナに始まり、見えかけてきたコロナのトンネルの出口も出口かわからない状態ですが、ウィルスは弱毒化して感染力を高めていく性質のようですが、引き続き正しく恐れて感染対策には取り組んで参ります。保護者の皆様に今年度も多くのご協力を賜りましての乗り切る事が出来ました事、御礼申し上げます。

子どもに外遊びをさせる身近な場所としては、まず公園が挙げられるでしょう。とはいえ、最近の公園は禁止されている遊びも多いのですが、そのようななかで、どのような遊びをさせれば、子どもの成長を促すことができるのかを考えてみたいと思います。

まず、「なにかで遊ばせる」という発想をやめることを考えます。公園遊びをするにも、最近の公園ではいろいろと規則が多くてできない遊びも多いですが、であるのならば、「〇〇で遊ぶ」という考え方をなくせばいいのです。

そもそも、外遊びは基本的にはなにもないところからはじめるほうがいいのです。いまの子どもの多くは、「〇〇で遊ぶ」ことに慣れてしまっていて、「どこどこで遊ぶ」ことが苦手です。実は、若い先生方も苦手です。何もない公園に行ってもなかなか遊べない。でも、放っておけばいいんですよ。そうしたら、子どもは自分で遊びを見つけますから。

そういうときに、親がなにかを用意してしまうと、結局は「〇〇で遊ぶ」を助長することになる。だって、子どもなら、葉っぱ1枚あればずいぶん遊べるものですよ。それなのに、親が「公園に行くのだったらフリスビーがいいかな？バドミントンがいいかな？」なんて言い出すから、子どもが遊べなくなるのです。

子どもが「ボールがほしい」なんて言っても、そこらにある松ぼっくりでも与えればいいのですよ。そうしたら、子どもはキャッチボールなんかよりよっぽど面白い遊びを考え出します。

親は子どもに「なにかで遊ばせる」という発想をまずやめること。そんなことよりも、子どもと一緒にその場にいてあげることに、すでにものすごく価値、意味がありますから。

また、生き物を殺した罪悪感がもたらす道徳性もあります。遊具なんてなにもなくても、花を摘んだり、四つ葉のクローバーを探したりするようなことだってできる。花を摘むことはダメという場所もありますが、人の良知が綺麗なものを手に入れたい、綺麗と感じるものだから、大好きな人にあげたい。ということもあります。アリの行列をずっと眺めているような子どももいるでしょう。ですが子どもにとっては、それは大冒険なのです。そして、なかにはアリなどの生き物を殺してしまう子どももいる。皆さんも幼い頃、虫眼鏡でアリを焼いたり、他の虫や生き物を殺してしまったりした経験を持っている人もいるはずです。でも、この残酷さにも意味がある。生き物を殺した後の罪悪感が、やがて小学生以降に発達する道徳性の基礎になるのです。「かわいそうだからやめなさい」と頭から禁止してしまうと、子どもは実感としての「かわいそう」という感覚がわからないまま育ってしまう。ただでさえ、今は家のなかでおじいちゃんやおばあちゃんが亡くなるといった死に触れる機会がすごく少ない時代です。だからこそ、生き物の死はとても貴重なものとな

るのではないでしょうか。子どもがせっかく捕まえたカブトムシが死んでしまったとしましょう。「なんで死んじゃったのだろう」と、子どもはショックを受けてボーッとしてしまう。この体験は、「命は大切だ」と100万回聞かされることよりもよっぽど意味があるものなのです。

もちろん、積極的に子どもに生き物を殺させなさいというわけじゃありませんが、生き物を殺した、ペットが死んでしまったというような経験をしている子どもの場合、生き物の死に直面するとそのときの胸の痛みがよみがえってくる。その感覚は、子どもにとって財産と言っていいものですよ。

親が与えるべきものは環境と安全ではないでしょうか。話が少し脱線してしまいましたが、公園遊びの話に戻しましょう。幼い子どもの場合、それこそ公園に遊び道具を持っていく必要なんてありません。幼い子どもは、知能の原型となる「感覚運動的な知能を使う」段階であり、感覚を使って公園の環境自体を味わうことが大切です。

たとえば、風や光、植物。あるいは硬さ、柔らかさ。歩くにしても、地面と砂場、落ち葉がたまっているところではその感触がちがいますよね。それから、遊具などに登ったときの視点のちがい。いわゆる、高さですね。そういう豊かな感覚をつかむことがポイントとなります。もう少し大きくなつて小学生になると、「目標を決めて挑戦する」とか「目標達成のために工夫する」ということにテーマが変わってくる。でも、この年齢になれば、子どもは自分で自分にいちばんふさわしいテーマを選びます。親が与えるような必要はありません。親が与えるべきは環境であり、安全です。

環境という意味で他に親ができることといえば、子どもに合わない公園だと思ったら、別の公園に連れて行ってあげること。自分の子どもより大きなお兄ちゃんたちが自転車でワーッと遊んでいるようなところなら、子どもは落ち着いて遊べませんからね。

「遊ぶ」ということのイメージを広げるも大切です。また、「遊び」という言葉に縛られず、イメージを広げてみるのもいいと思いますよ。たとえば、家のなかでやっていることを外でやる。日曜の朝、ちょっと遅めに起きて冷蔵庫の残り物をバスケットに詰めて持つて行って、外で食べる。それだけでも、子どもにとってはすごくスペシャルな体験です。遊ぶと言ったときに、遊び道具を持って行ってレジャーシートを広げて、「さあ、遊ぶわよ！」というのではなく、もっと気軽に考えていいのです。「面倒くさいな」なんてばやいでいるパパと、張り切っているママと、はしゃいでいる子どもが一緒にご飯を食べる。その後は夫婦で会話しながら、すぐそばを子どもがたつたか走りまわっている。こういうものも含めて、外遊びと考えたらどうでしょうか。

そして、なによりも親が子どもと一緒に楽しんであげることです。親が楽しんでいる姿を見て、子どもは「こうやって楽しむんだな」「こういうものに価値があるんだな」と感じる。体験の共有には、話を聞いてもらうことと同じ意味があります。人は誰かに認められたり受け入れられたりしないと生きていけません。子どもの発達には、認められる、受け入れられる体験が絶対に必要なのです。

それから、親が楽しむことで親自身のストレス解消にもなる。当然、子どもに優しくできる。そして、「公園に行ったときのママ、大好き」なんて子どもに言われること・・・があったら？最高ですね。

園長 野村 良司

3月号 年長クラス

造形あそび～動物を作ろう～

以前の造形あそびで立体を作って遊んだのですが、今回はその延長で立体の動物を作りました！！ゾウ、コアラ、トラなど様々な動物が出来上がり、どれもカラフルで個性溢れています。今との作って動物たちを使い、大きな模造紙に動物園を作りました♪動物たくさん作るかと思つていてのですが…気づいたら売店や自動販売機、ベンチまで立体を作り設置していました。想像力の大しさを改めて実感いたしました。そして、進級当初にはまだ“出来なかつてお反づう同士協力して作り上げることが出来ます”になっていたことにも驚きました。声を掛け合い役割分担をして案を出し合ひ資は頼もしくも見えました。造形あそびを通して、楽しさながらも表現力や想像力が芽生えたのではないかと思います。これからもう遊びを通して、学んでいくことを大切にして欲しいです。



ひな祭り製作

ひな祭りの製作では、お内裏様とお雛様の吊るし飾りを作りました。細かいパーツを切ることに苦戦する様子もありましたが、子ども同士で教えあつたり、話を一度聞いただけで取り組む姿に成長を感じました。雛人形の意味を知り、理解を深めて作っていくことで自分なりの工夫を凝らし、手先を器用に使う姿も見られました♪ 同じものを作っていても装飾の大きさや顔の描き方、個性が輝いていました。



UTABUTAI2022

リハーサルや練習では踊れるかな…と不安な声が聞こえたり、不安な表情が見られましたが、本番直前まで“何よりも楽しんで歌うこと”を子ども達に伝えて参りました。そして本番では緊張する様子もありましたが、笑顔で歌っている子ども達の姿を見ることができ、UTABUTAIをこれから楽しんでいる様子を感じました。また、保護者の皆様を見つける嬉しそうにする姿や堂々と歌う姿がありました。歌声がとても素敵な学年ですが、一生懸命に歌おうとするあまり、表情が強張ってしまふことが多くありました。その様な時に、オズの魔法使いのDVDを見直し、1曲1曲をどんなふうに歌ふのかを考えるようにしました。すると「この曲はドロシーの曲だね」「楽しい氣持の曲だ」と子ども達が思ひ入れで歌えるようにになってきました。例年と異なることが多々あり、ご心配・ご迷惑をおかけしたかと思いますが、無事開催できたこと喜しく思います。保護者の皆様のご協力があつたからこそ、この様な素敵な会にできただと思います。パフォーマンスありがとうございました。



エメラルド

何事にも一生懸命でキラキラと輝く年長クラスの皆さんと過ごすことができとても楽しかっています。みんなの優しさと明るさで、小学校に行きたくなりの日も元気をあげてねりまた幼稚園に遊びに来て下さいね♪ いつも待っています。

サファイア

皆さんとは年中クラスも含めて、2年間同じ時間も過ごすことが出来ましたね!! この学年は、普段はお調子者の多い学年(笑)でも、やる時はやる!とセカリ替え100%以上の力を発揮してくれる…そんなステキな子どもたちタダこれからも先生は皆を応援しています♪

ルビー

元気いっぱい遊び日々も全力! そんな年長クラスの皆さんと一緒に過ごすことが出来、とても楽しかったです。これからも同僚のことを考えて行動してくれると嬉しいです! そんな、素直なみなさんなう、カッコよくかわいい小学生になれるはず。幼稚園で頑張ってくださいと、自信に変えし小学校を光り下さるよ! 期待しています!

年中クラス

一年間・・・

保護者の皆様、一年間
ありがとうございました!
様々なことがありました。一年間
でしたが、年中クラスの子どもたちと
過ごす時間は、私たちにとって、かけ
がえのないものとなりました。



ひなまつり製作

ひなまつりに向けて、
折り紙や画用紙、紙皿
を使って、ひな人形を作り
ました!!これまで、多くの製作を行って
きましたが、説明を一度で「聞き取る
力や、ハサミの使い方など」、どんとん
レベルアップしています!!ひな人形の
彦良は、一人ひとりオリジナリティ
満点の彦良や泣いている彦良など
個性豊かな仕上がりで、とても
可愛いひな人形が出来ました。



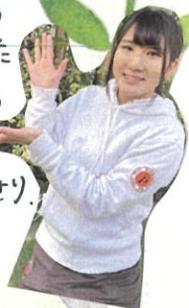
造形あそび

今回の造形あそびは
デカルコマニーを行いました!!紙の片面に糸絆を
描き、半分に折り、転写
させていきます。動物やお花畠、
お化け屋敷など、自分たちで何を
するか考えて行う姿が見られ
ました!!今後も、楽しく活動し
ていけるよう、様々な技法を
用いていきたいと思います。



なかむらせんせい

沢山お話をしてくれる年中クラスの
みんなと1年過ごせてとても楽しかった
です。年長クラスになると、みんなの
素敵な姿を沢山見てきたんですね。
保護者の方々も温かく見守って下さい。
1年間ありがとうございました。



おさのせんせい

いつも元気いっぱいの年中クラスの
皆さん、園庭や廊下にいる時も
「小佐野先生~!」と来て下さりとても
喜しかったです。年長クラスになると、
ニコニコで元気張って下さいね。すっとすっと応援しています。
ありがとうございました!!



UTABUTAI 2022

UTABUTAI 2022、お越
しくださり、ありがとうございました!
ました。3学期は休園もあり、全員で
集まる機会も多ありませんでした。しかし、
4月から練習を重ねてきたことに自信
を持ち、歌うことことができました。
UTABUTAIは、学年のカウント重要な
になりますが、年中クラスが一つになりました。
学年としての力を發揮できただ
と思っております。当日を迎える
にあたり、ご苦労を頂き、
ありがとうございました。



おかもとせんせい

クラスを越えて一緒に過ごした時
間はとても楽しかったです。お友だちの
気持ちを感じ受け止めながら樂しく
してお友だちを大切に出来る年長さんにな
って下さい。

保護者の皆様、いつも温かく見守って頂
き、ありがとうございました。



年少クラス



UTABUTAI

UTABUTAIにお越しいただきありがとうございました。
3学期に入りから、替え歌を作り、子どもたちに伝え
練習を始めました。音声はまとまっていたのですが、の、やはり
新しい歌詞、歌詞を盛り込むのが上手
すぎた音をハズしたり、高めの音が出来上がったり、
課題はたくさんありました。合同の歌練習の時間を
作り取り組んできました。2月は休園になりましたが、自由
登園になりました。思っていた以上に時間が少なくて
なりましたが、自由登園の1週間と通常の教育活動が
ぐぐた3週目。2週間は毎日合同で練習いたしました
この2週間に本当に大切な時間となりました。各
3Fホールでの全体通し練習は1回、入道具で用意した
大きなたまご、フライパン、たまごの車を見たのはリハーサル。
初め(笑)と本番を迎えるまことにきりきりでしたが、
UTABUTAI当日はいい声を聞かせてくられましたし、
芸のパッチリ出ましたし、個人のセリフも、全体のセリフも
パッチリ子供たちの座力を見せもらいました!!入成功です!!



クラス別サーキット

クラス別サーキットではオセロタッシューを行いました。①
オセロタッシューとは白黒はっきりせるという意味で名付け
られた勝ち抜きタッシューです。1位のみの次のレースに進める
ので、1発勝負!!負けにならなければ!!と
いう気持ちで育てさせていたので、3クラスとも熱くなっています!!
男子の1位、女子の1位を決め、その後
総合1位を決まりました。勝った子、負けた子
悔しいと感じた子、まだそこまで気持ちが出ていない子など
それぞれの姿が見られる形となりましたが、年中、年長へと
成長するにつれ、気持ちの変化も見られるつどはほのかと
思うので、その変化も楽しみにしています。今後もサーキットに
取り組んで参ります!!



ひな祭り製作

2月中旬からひな祭りに向むけ製作を始めました。
休園になりましたが、ひな祭りは過ぎてしましましたが、これからまた製作開始します!!
今は、染め紙で模様をつけて着物のみで、顔と台紙をこれから作ります。年少最後の製作になりました!!
かわいいおひなさま、おたのしみになります!!

バレンタインが近づいて、ハートの製作を行いました。
くぼみの部分が難しいのかな?と思ってました。か
なり落とすことなく上手にできました。黒の画面紙は
好みのように配置し、絵の具は全部ぬるのではなく
白の部分を残すよう伝えました。そうすると、どの様に
線を置こうか、絵の具はどこをねじるかを考えながら取り組む
ことができます。友達と話し合って同じようにしたり、自分で
全て考えたり、それぞれの個性がでた1作品となりました。



information

① うわばきのゴムについて

かかるところのゴムですが、ゴムがよくても
1人でうわばきが履けるようになりました。
新年度が始まるまでは外して下さい。
ゴムが重いと難しいと、うちは
新年度が始まるまでは一人で
履けるよう練習して下さいね。

宜しくお願ひ致します。

② ワークや用品について

- せんのワークは1年かけて行ないます。お休みした日の
ページは行なっていよいよ家庭でぜひ行なって下さい!!
- 新年度、持ってきてほしいのに用品は4月に入れて
園により等でお知らせしますのでそちらで
ご確認下さい。
- 年中に向むけ連絡帳、色えんぴつを
お渡します。色えんぴつは1本体に
名前を書き、4月にお持ち下さい。